

高校時代を過ごしたアメリカで、LGBTQに寛容な社会に衝撃を受けた。「日本では表立った差別は少ないけれど、そもそも関心すらない層が多いのでは」。まずは身近なコミュニティから変革をと、昨年6月、友人らとLGBTQの理解を促すフライヤーを作成。日吉キャンパス前で配布した。「自分もできることをしようと思う、という反応が多くうれしかった」。慶應義塾のSDGs実現を推進する「2022塾生会議」のメンバーとしても活動中だ。「理想を語るだけでなく、実際に慶應を変えていけるよう継続して働きかけていきます」。英語で経済学の学位が取得できるPEARLに在籍。SFCのゼミで国際安全保障を学び、サークルでは財政研究に励む多忙な日々を、持ち前の行動力で軽やかに駆け抜ける。



さまざまな活動を通して「何かを変えるには、仲間の存在が大切だと実感した」と語る 「塾生会議」では教育のワーキンググループに所属。「塾生皆が安心して学べる環境を整えたい」